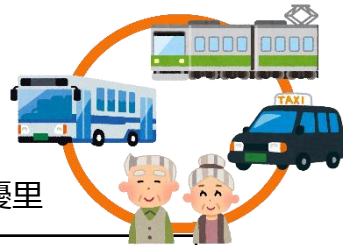


# 公共交通まるごとシニアパス

～乗って・歩いて。高齢者が元気に暮らせるまちへ～

高知市役所 保育幼稚園課 蕨岡 優里



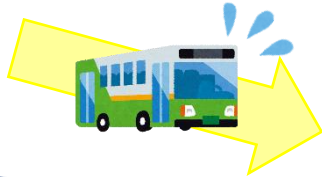
## 解決したい問題

## 公共交通の利用者が減っている。

### 高知市の公共交通を取り巻く現状

#### 問題

- 交通手段の利用率は**自動車**が最も高い。(46%)  
対して**バス・路面電車**は4%と極めて少ない。
- バス・路面電車の輸送人員は減少傾向**にある。  
特にバスはH13年度からR元年度にかけて**6割減少**。



### 公共交通の衰退を放置すると…

#### 深刻性

- マイカーを持たない市民にとって暮らしにくい
- 高齢者が**運転免許を返納したくてもできない**
- 高齢者の**外出機会が減少し、健康状態の悪化**に繋がる
- 駅などの交通拠点が発達せず、密度の薄い広がった街になる
- 中心市街地の空洞化を助長する



### 公共交通に関する満足度調査 (H28年10月 とさでん交通)

#### 原因

- バスについては**利用者の半数以上が「不満」「とても不満**」と回答
- 「不満」と感じる原因は**利便性の低さ**にある。



### 現状のサービスと課題

#### 課題

- ①デマンドタクシーの運行**  
デマンドタクシー⇔バス・路面電車を**乗り継いで利用**する際の**利便性が乏しい**。
- ②とさでん交通の割引サービス**  
高齢者向けの定期券はあるが、電車のみ対象  
複数の交通機関で利用できる**交通優待カードがない**。

## 政策提言

## 公共交通まるごとシニアパス

- 利用希望者は申請書類にて申込みのうえ、5,000円で購入する。
- 有効期間は6か月間 (①4月～9月 ②10月～3月)
- 9～17時の時間帯にバス・電車・デマンドタクシー**を利用する際、パスポートを掲示すると、それぞれ**一乗車100円**で利用できる。
- 中心市街地の協賛店で、**買い物・飲食・施設利用の割引サービス**が受けられる。
- 協賛店として、日曜市などの「土佐の街路市」も対象とする。

#### 予算

年間5.9千万円  
・交通費差額分の補助  
5千円×1万枚 (上限)  
・協賛施設への補助  
15万円×60施設 (目標値)

#### 効果

(富山市の成功事例を参照して試算)

#### 短期成果目標

パスポート保有者が、公共交通を  
**1日平均1,500人**利用する

パスポート保有者 (1人あたり) の  
歩数を**1,300歩/日** 増やす

#### 中長期成果目標

特に減少傾向にある路線バスについて、  
**輸送人員10%増加**を見込む

パスポート保有者の年間医療費を  
**トータル7.3億円削減**する  
(1人あたり7.3万円減×1万人)

## 将来 ビジョン

多様な交通手段で繋がる**コンパクトで暮らしやすいまち**を実現する。  
高齢者が**いきいき健康に暮らせるまち**を実現する。

